

青雲の志

岩手県立花北青雲高等学校
校長通信 第43号
令和4年11月29日発行
文責 校長 佐々木 伸良

2年生、修学旅行まで あと14日
【12月13日(火)～12月16日(金)】
3年生、修学旅行まで あと18日
【12月17日(土)～12月20日(火)】

生徒の皆さんが楽しみにしている修学旅行が、間近に迫ってきました。県内の他の高校でもすでに修学旅行を行った高校もあります。今年は、京都の紅葉が例年にも増して、色鮮やかとなり、多くの観光客が訪れているニュースが毎日のようにテレビで映し出され、早く行きたい気持ちになっていることでしょう。すでに出発の用意を始めた人もいると思いますが、一番大切なことは、自分の健康管理です。周知のとおり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が、県内はもとより、全国各地で拡大しております。本校でも徹底した感染防止対策を毎日お願いしておりますが、感染者数はなかなか減少しません。修学旅行に参加する生徒全員が、出発できるように、学校内、学校外そして家庭内での各自の感染防止対策の徹底をお願いします。特に、マスクを外した場面での対策や体調に少しでも異変を感じた時など注意願います。

なお、感染した場合や濃厚接触者となった場合の対応については、次の通りとなります。

- 1 修学旅行前に発症し、陽性となった場合
 - (1) 2年12/6(火)以降 3年12/10(土)以降に発症した場合参加できません。
 - (2) 出発日8日前(2年12/5 3年12/9)に発症した場合は3日間、9日前(2年12/4 3年12/8)2日間、10日前(2年12/3 3年12/7)1日間、常時マスク着用、食事や部屋は他の生徒との接触を避けるため、り別室等の対応となります。
- 2 修学旅行前に濃厚接触者となった場合
 - (1) 6日前までの接触で、特に症状がなければ、参加できます。(2年～12/7(水)、3年～12/11(日))。
 - (2) 3日前以降の接触で、濃厚接触者となった場合は、参加できません。
(2年12/10(土)～、3年12/14(水)～)
- 3 修学旅行中に感染の症状が現われた場合(頭痛、発熱、喉の痛み等)
 - (1) 対象者を別室とし、現地保健所の指示に従います。
 - (2) 感染拡大防止ため、行程の見直しを検討します。
- 4 修学旅行中に陽性となった場合
 - (1) 対象者を別室とし、現地保健所の指示に従います。
 - (2) 感染拡大防止ため、行程の見直しを検討します。

- ① 医師の診断を受けます。
 - ② 保護者に来てもらい、帰宅までの対応をお願いすることになります。
 - ③ 保護者に来てもらうまでは、学校側で対応します。
- 5 修学旅行中に濃厚接触者となった場合
対象者を別室とし、現地保健所の指示に従います。
 - ① 修学旅行団と帰宅が可能であれば、帰宅させます。(抗原検査を受けます)
 - ② 修学旅行団と帰宅が不可能であれば、新たな職員を派遣するか、保護者に依頼するかについて検討します。
- 6 役立つ情報窓口
- (1) きょうと修学旅行ナビ
<https://shugakuryoko.kyoto.travel/>
 - (2) きょうと修学旅行専用24時間感染電話相談窓口
075-708-3676
・京都滞在中、感染疑いが生じた場合の相談窓口。
 - (3) 修学旅行専用電話相談窓口(京都)
075-744-1308(平日9時～17時)

さて、ここは京都のどこでしょうか。かなり有名な場所です。私も何度も行きましたが、心が落ち着く所です。班別研修でここをコースに入れたグループは、時間をかけて見学してください。日本の庭園技術の技を知ってください。



室町時代の禅宗の影響を受けた枯山水の庭園です。白砂、や石組み、苔に様々な意味があり、塀の高さも工夫されています。